# おうめ

# 自治会 · 支会活動事例集

平成26年度版



編集·発行 青梅市·青梅市自治会連合会



# 自治会・支会事例集の発行にあたって



青梅市内には、平成26年度現在11の支会、172 の自治会があり、それぞれの地域特性にあったさまざ まな活動を展開しています。



魅力ある自治会・支会活動を事例集としてまとめ、活発に取り組まれている自治会活動を広く市民の皆さんにお知らせすることとしました。



各自治会の活動内容や、地域の安心・安全のための防災活動などを掲載していますので、自治会活動の参考にご活用ください。



青梅市・青梅市自治会連合会

# おうめ 自治会・支会活動事例集 目次

Γ	自		織馬町																							
Γ	地		 立 高 <b>1 丁</b>							_	J	目	自油	台名	ž	(第	§ 1	支	会	)	•	•	•	• (	•	2
Γ	防		犯・ <b>自 治</b>														· \ -	ま <i>を</i>	5 -	ブ < ・	< ·	•	•	•	•	3
Γ	駒		ジ オ <b>連 合</b>						支	会)	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	4
Γ			の 师 <b>連 合</b>		_			_			_	•	•	•	•	•	•	•	•	•			•	•	•	5
Γ		_	 まつ <b>連合</b>	-	_	<b>È</b> (	〔第	2	支急	会)	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			•	•	•	6
Γ			通り <b>町第</b>	_	自 治	会 给	ŧ (	第	2 5	支套	会)	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	7
Γ	大		霞 台 <b>区 自</b>										-		. –		•	•	•	•			•	•	•	8
Γ	地		が 深 <b>三 自</b>			_		_	_	) (		•	•		•			•		•			•	•	•	9

Γ	和							_ 会							•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	0
Γ	上	郷梅						会	(	第	4	支	会	:)	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	1
Γ	多				道 •					· ル	,	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	2
Γ	Ξ				-			会 •	_	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	3
Γ	農	業 <b>第</b>			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	4
Γ	黒	沢 <b>第</b>			活 •		_	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	5
Γ	富							に 会												ン・	グ・	<b>.</b>	•	•	•	•	•	•	•	•	1	6
Γ	夜	間 <b>第</b>			練 •		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	7
Γ	É			_		-		•				) < ・	< ·	り. •	J .	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	8
Γ	災							ッ <b>治</b>						-					ン・	テ ・	イ ・	ア	<u> </u>	•	•	•	•	•	•	•	1	9
Γ	É							え()									•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	0
Γ	安				<i>د</i> ۱			٠.	ワ •	•	· ク	7 •	<b>₽</b> •	業 •	J .	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	1
Γ	新							の 会			_	支	会	:)		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	2
Γ	自							活 <b>治</b>			第	9	支	会	<b>(</b> )		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	3
Γ	新							1																				•	•	•	2	4
Γ	地							· •				<u>.</u>	5 ( •	か <sup>:</sup>	街	づ	· <	< ·	り •		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	5
Γ	市							`の •				•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	2	6
Γ	今							餅会							会〕	)	•		•		•	•	•	•		•	•	•		•	2	7

# -人ひとりが少しずつ・みんなで創る天ヶ瀬町



# 第1支会 天ヶ瀬町自治会



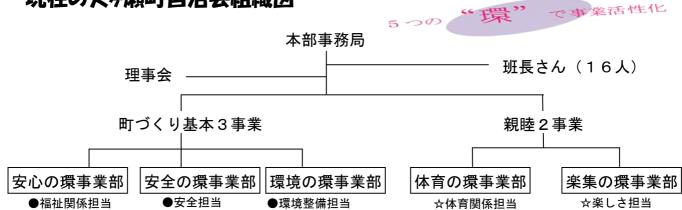
# 自治会組織再生への試み

自治会長 野末 信義

# 天ヶ瀬町自治会は生まれ変わりました。

- 1、平成25年の自治会組織改革により、イベント主体型の活動から地域の安心・安全/環境整備など日常に役立つ自治会活動にシフトしました。
- 2、より地域の日常に密着した活動を行うため五つの事業部を設置することにより、事業の活性 化と役員の分業化による負担軽減を図りました。
- 3、従来の組長(評議員)制度を廃止し、回覧などの事務機能を担う班長さんの制度に改めるとともに、募金などの集金業務を自治会一括納入に改めるなどの措置により大幅な負担軽減をしました。
- 4、役員・班長さんの選任方法を、やっていただける人に手を挙げていただくボランティア登録制にし、順番で役が回ってきたり、無理やり役を引き受けていただくことはなくしました。
- 5、全員参加を目指し、「町づくり会員(A会員)」、「町づくり協力会員(B会員)」制度(会費に差あり)の導入。分業化により負担が軽減された正副会長が、個別訪問や説明会開催を行い、「町づくりに力をお貸しください」と呼びかけ、仕事の都合や健康その他の事情で活動に参加できない方に「町づくり協力会員」として、主に安心・安全・環境整備の基本3事業について協力いただき将来的には町づくり会員へ移行していただくことを目指します。

# 現在の天ヶ瀬町自治会組織図



☆本部事務局(本部スタッフ:正副自治会長、会計、事務局2人、相談役2人、会計監事2人計9人)

●会員加入促進●事業部統括●広報事務●会計事務●行政、関係団体などの連絡調整

☆理事会(本部スタッフ5人+理事10人にて構成)

●総会に上程すべき重要事項の協議と立案

☆事業部(事業部長兼理事2人、推進スタッフおよび事業部員にて構成)

●事業計画の立案および実施



機会あるごとにスタッフを募集 ~LOVE LETTER作戦~

# 天ヶ瀬町自治会改革はINGです

現在、69人の会員が町づくりの推進役として登録されていますが、事業活性化のためには更に多くの推進スタッフが必要です。特に、女性リーダーが不可欠です。このため、現在、推進スタッフの育成を進めていこうと考えています。 天ヶ瀬町自治会の改革は、現在進行形です。今後も、「一人ひとりが少しずつみんなで創る天ヶ瀬町」をモットーによりよい街づくりをめざして行きたいと思います。

# 第1支会 裹 宿 町

# 地元の都立高校との連携活動



裏宿町1丁目自治会 裏宿町2丁目自治会

### 都立多摩高と作る地域防災

私たちの地域には、創立92年目を 数える都立多摩高校がございます。今 年度より、校長・副校長が代わられて、 校長の「青梅で地元に貢献できる人を 育てたい。この地域は生徒の面倒を見 てくれる地域だと確信している。」とい うお考えもあり、都立多摩高校と裏宿 町自治会も新しい関係を築こうとして おります。

平成26年4月25日(金)から4 月26日(土)にかけて行われた都立 多摩高校の宿泊防災訓練では、校長先 生からご連絡をいただいて、青梅消防 署による防災講話へ自治会も参加しま した。

自治会会員の皆様にお声を掛けさせていただきましたところ、当日の青梅消防署による防災講話には60余名の方々のご参加をいただきました。

副校長先生のお話では、都立高校の 防災訓練でもこれだけの地域の方々が 参加するというのはあまり聞いたこと がないということでした。

当日は、午後4時頃に自治会の方々が訪問し、一階の教室に集合して副校長の話のあとに、青梅消防署の防災講話に参加しました。その後に副校長の案内で校内施設を見学し、午後5時過

ぎには都立多摩高校の防災倉庫に備蓄 されているアルファ米の試食会に参加 しました。アルファ米は熱湯を注ぐだ けでできる御飯ですが、ワカメが入っ ていたりとおいしくできるので驚いた ところです。今後は防災倉庫の見学も 是非計画したいところです。

### 「奉仕の時間」への協力

最近の都立高校には、「奉仕」という時間があります。都立多摩高校を縫ってを縫って、本仕」の時間に雑巾を縫まして、事付をするという計画を実施した。という計画を対して、ませいでは、ないまですが、自治をですが、もましたが、もましたがですが、はまたおりに、数にはまたが、もまいな年齢ですが、大きにはないましたが、はまたおりに、数には、というです。ないましたが、ないましたが、ないましたが、ないましたが、ないました。というです。なり、おいところでは、8月22日(金)の贈呈の様子を8月29日(きました。



◇ 婦人メンバーが講師



# 第1支会 大柳町自治会

自治会長 太田藤一 世帯数260世帯 役員17名(女性2名) 組長25名

大柳町は東日本大震災を機に取り組みが変わりました。 防災・防犯・災害に対し隣近所の繋がりの強いまちづくりに取り組んでいます。

#### 大柳町防災マップ(H24.9)

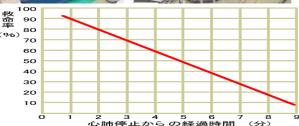


災害発生時あわてずに行動できるよう、町内避難場所や消火器設置場所 等を示したマップを作成した。

全世帯(520世帯)に配布し更に町内15ヶ所に掲示しています。

## 救急救命技能講習会風景(H25.10)





自治会会員の36%(94人)が参加し、 命を思いやる気持ちを忘れずに各団体 が協力して活動しています。

現状の町内AED設置状況では2台 しかなく10分以内に往復するのは難し く東西南北に各1台設置する事を目標 に取組みに力を入れています。 (目標は往復4分~8分以内) 4団体3世代交流会(H24.10)



自治会加入促進を目的として、町内 全世帯を対象に世代間交流会を実施 する事で顔見知りになる機会を増やし ています。

ファミリーゴルフ、輪投げ、抽選会等約100人参加

役員会、組長打合せ H26.8.23



①風水害・土砂災害対応 気象情報(青梅市注意報発令) 時間雨量70mm予測の時は

自治会正副会長は会館待機

大柳町会館を避難場所として開放する

# ②買い物弱者対応として

大柳町の買い物弱者に対する取り 組みとして、近くのスーパーと提携し て大柳町⇔スーパーのシャトルバスの 巡行に取り組んでいます。



# 第2支会 駒木町連合自治会

# 駒木町ラジオ体操開催

駒木町連合自治会長 高橋 正

世帯数 610世帯

毎年恒例の駒木町ラジオ体操が今年も盛大に開催されました。 平成26年8月10日~8月17日AM6:20~ 会場 駒木町運動広場 「地元のラジオ体操に参加して清々しい朝を迎えませんか」をキャッチフレーズに

主催は、駒木町連合自治会、参加団体は駒木町の二小、二中PTA、青少対、長寿会、体育部そして地域の方々と幅広くご参加を頂きました。

開催に先立ち、第2支会で開催されるラジオ体操講習会に、地元のジュニアリーダーと体育部が参加し、ラジオ体操のいろはを学びました。

また、今年はより多く地域の方々にラジオ体操が開催されている事を知って頂く事、参加頂く事を目的に、



『ラジオ体操の様子』

「東京都地域の底力再生事業助成」に申請を行い、ラジオ体操開催の看板や T-シャツ、ポスターなどを作成し実施しました。

その成果として、毎日90名~120名の方々にご参加頂き、取材に来られた西の風新聞の記者 さんも大変驚かれていました。

参加頂いた方達には参加賞、子供達にはおかしや文房具なども配布し、皆さんの笑顔がとても印象に残っています。

ラジオ体操は体を動かす事だけでなく、地域の皆様のコミュニケーションの場にもなります。 来年度以降も、各団体が一体となって駒木町ラジオ体操を盛り上げて行ければと思います。

駒木町体育部 安達優也



『ラジオ体操講習会の様子』



『自治会館前看板』

# 親子一緒の凧作りと凧揚げ大会

# ~伝統的な遊びの体験を通して、地域の連携協力を図る~

下長淵第四自治会長・連合自治会長 宇津木順一

長淵1丁目から4丁目までの下長淵地区には、各丁目を中心に第1自治会から第4自治会まであります。この4つの自治会がまとまって下長淵連合自治会を構成し、下長淵地区として多くの活動を協力して行っています。

地区内の多摩川河川敷には長淵市民プール (現在休止中)があり、堤防下に河原が広がっています。この環境を生かし、伝統の遊びを通して親子のふれあいを深め、地域の連携協力を図るため、1月に自治会と各種団体が協力して、親子一緒の凧作りと凧揚げ大会を行っています。(平成26年は1月26日(日)に実施)

#### 親子一緒の凧作り

大会は、午前中の自治会館での凧作りから始まりました。竹ひごやたこ糸、和紙などの材料を基に、自分たちの手で凧を作ります。まず和紙に子供達がそれぞれ思い思いに絵を描きました。次に和紙に竹ひごを結び骨格を作ります。最後に凧糸を張り仕上げました。



#### ピザと豚汁の昼食で楽しい会話

凧作りの後、完成した凧を持って長淵市民 プール前広場に移動し、昼食です。広場では、 青少対、二小・二中 PTA、消防団、安協などが朝からピザや豚汁を作って待ち受けていました。親子そろっての昼食で、大いに会話が盛り上がりました。



#### 広い河原での凧揚げ大会

昼食後は、いよいよ大会本番の凧揚げです。 今年は、あいにくの強風となりました。やむ を得ず時間を早めて凧揚げ大会を終了しまし た。



#### 地域の連携協力

昨年に続いての2回目の凧揚げ大会でした が、小学生を中心に昨年を超える大勢の親子 が参加しました。

また、今年は、「凧揚げ大会を通じて親子の伝統文化の体験と自治会等への加入促進」 ということで、都の「地域の底力再生事業助 成金」を請けて実施することができました。

# 友田町連合自治会の取り組み

# 「友田町夏まつり」

友田町連合自治会会長 友田町第2自治会長 栗 原 秀 二

友田町は、丁目別では $1\sim5$ 丁目まであり、自治会としては第 $1\sim$ 第7自治会と丁目をまたいだ形での自治会構成となっております。友田町全体としての自治会活動は、7自治会が連合した友田町連合自治会と称し活動しておりますが、個々の活動は単位自治会ごとに行っています。

自治会加入率は平成26年4月現在で52.3%となっており、他地区よりは加入率は若干高いかと思います。

友田町の行事は毎月のようにありますが、中でも夏の風物詩でもあります「盆踊り」についての取り組みを紹介します。

本年は、従来の「友田町盆踊り大会」から、盆踊りを主として皆が楽しめる

「友田町夏まつり」と名称を変更して平成 26年7月20日に開催しました。

変更に伴い、各種団体に持ち時間を与え その時間内に盆踊りを踊るか、別の出しも のを行うよう依頼しました。また、盆踊り の練習にも参加するよう呼びかけたとこ



ろ、昨年に増した人数で、中学校 PTA では中学生男女がダンスを披露するための特訓をするなど、練習を通して各種団体の意気込みを感じたところです。

開催当日は、午後4時頃からスピーカーからの曲に誘われるごとく地域の方々が集まりはじめ、模擬店も忙しくなり、午後5時に友田町郷土芸能保存会の「迎え囃子」で幕開けとなりました。

その後は、各種団体がやぐらに上がりそれぞれの踊りを披露し、なかでも中学生の男女のダンスが始まるとやぐらがステージに早変わりして、輪になっていた子供から大人までがやぐらに釘付け状態になるほど見惚れていました。また、友田小学校の正副校長先生方と小学生がやぐらで踊るなどし、午後9時に名残を惜しみながら夏のひと夜が閉宴となりました。

住民同士の親睦と自治会への加入に少しでも貢献できる行事になればと思い「友田町夏まつり」とし、踊りの輪には入らなくても浴衣を着て気軽に参加できる場としたことで、 例年にない賑わいをみせ、盛大に終了することができました。

各地域で自治会離れが顕著に見受けられますが、このような催し物により地域の親睦、 繋がりが図られ自治会離れが少しでも減退することを願い今後も開催していく予定です。

# 千ヶ瀬町第二自治会事業

# ~ あ い さ つ 通 り ~

私たちの住む千ヶ瀬町も都市化が進み、人間関係が希薄になり、道ですれ違っても大人 も子ども黙って通り過ぎ事があります。

「親睦・連帯・助け合い」を合言葉に累代続けてきました千ヶ瀬町第二自治会の活動ですが、 6年前、当時の自治会長が、こんな現状を何とか打開し、温かな町を取り戻したいと、「あ いさつ」運動を始めました。今期まで引き継がれ、6年間継続して進めてきております。

- ●いつでも・・どこでも・・だれにでも・・・・・「笑顔のあいさつ・・明るく元気よく」・・ おはよう・こんにちは・・こんばんは・・ありがとう
- ●広げよう・・家庭から~お隣さん~隣組さん~自治会へ・・
- ●「親睦・連帯・助け合い」「安心・・安全のまち」千ヶ瀬町第二自治会

総会で、役員会で、様々な行事の中で、「あいさつ」の推進が強調されるとともに、掲示板の余白にも上記の標語が掲示されました。

★今回報告させていただくのは、この平成26年4 月から始まったあいさつ運動の新しい取り組みです。

この4月、青地に黄色で「あいさつ通り」と大きく書いた幟をつくり、町内の要所5か所に掲示しましたところ、思いのほか好評で、皆様にいいインパクトを与えています。

また、町内に3か所設置されている掲示板の 標語もより大きく、見やすくしました。





★この結果、通りが何となく明るくなりました。

ラジオ体操の折にも子ども達にも、協力を呼びかけ、町の雰囲気が変わりつつあります。自治会活動でも、ささやかではありますが、前向きに風の変化を感じられるようになったと思います。

小さな取組みですが、さらに輪を進めて自治会活動の活性化につなげてゆきたいと思います。

# 霞台地区自治会連合ニュース

2014(平成26)年8月15日発行 発行責任 霞台地区自治会連合

# 盆踊り大会、好天にも恵まれ、千数百人の参加で大成功!! ~皆様のご協力に、心から感謝申し上げます~

先日の7月26日(土)、恒例の霞台地区自治会連合主催の盆踊り大会が、大門第二広場で開かれました。

昨年は、夜の7時頃から豪雨が襲い、途中での中止に追い込まれましたが、今回は、朝から猛暑で、夕立も来ずに夕方5時から9時までフルタイムで、盆踊り大会を成功させることができました。

当日は、朝8時に、炎天下の中、男性実行委員の皆さんが8つの自治会から数十名集まり、やぐらを 建てたり、テントを張ったりして、会場設営を行いました。

夕方5時から、予定通り子ども会の踊りからはじまり、トップバッターは野上第2自治会で、元気よく踊りました。子ども会のあと、嘉志和会の方々が円熟した踊りを披露しました。

6時頃から開会式となり、増子連合会長、清水顧問等がやぐらの上から挨拶をしました。井上環境副 大臣をはじめ、来賓の方々もたくさんお見えになりました。

実行委員の方にはもちろん、 親和会、安協、消防団の方々にも本当にお世話になりました。あらためて御礼を申し上げます。また、今年は、一昨年に引き続きまして、東京都の底力再生事業助成金をいただくことができました。



正門です!!



自治会長の踊り(応援団も参加)



浴衣姿もあでやかに



大門5自治会のテント風景

# 野上第三自治会ニュース

2014(平成26)年8月30日発行 発行責任 野上第三自治会情宣部

# 夏祭り、好天にも恵まれ、たくさんの方の参加で大成功!! ~ 皆様のご協力に、心から感謝申し上げます~

8月23日(土)、第9回目の野上第三自治会主催の夏祭り大会が、自治会会館の庭で開かれました。 当日は、午後1時頃から、ブロック長・組長・役員さん等が40人余集まり、夕方からの夏祭りを準備 しました。会館内では、女衆を中心に野菜を切ったりして焼きそば、たこ焼きの準備をし、外では男衆を 中心に、テントの組み立て、提灯の飾りつけ等の準備をしました。

準備万端、5時から増子自治会長の挨拶で夏祭りがはじまりました。夕方から雨がふるのではないかと 心配されましたが、一滴の雨もなく、次第に地域の方がたくさん集まり、楽しく交流を深めました。

実行委員の方には、本当にお世話になりました。また、お忙しいところ、たくさんの方がおいでいただ きまして、ありがとうございました。あらためて御礼を申し上げます。



子ども会の盆踊りです!!



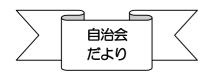
大人の盆踊りです!!



子ども会の「金魚すくい」です!!



親子仲良くです!!



# 第4支会 和田町連合自治会

# 和田町自治会ニュースの発行

連合自治会長 並木 誠 世帯数 305世帯

和田町連合自治会では、活動内容を地域住民に情報提供することを目的として「和田町自 治会ニュース」の発行を行っております。

「和田町自治会ニュース」は、平成18年8月に第1号を発行して以来、9年間にわたり 毎月発行を目指し、自治会員の皆様に配布しております。

#### 【主な掲載内容】

- 定期総会、理事会、各種団体会議 等の各種会議報告
- お祭り、納涼祭、運動会、文化祭 等の各種イベント
- インディアカ、ソフトボール、卓球 等のスポーツ大会
- 美化デー、花壇の植替え、多摩川一万人清掃大会 等の環境美化活動
- 各種団体(清和会、消防団、体育部、こども会、他)の活動報告
- 子ども会、中学校PTA、自治会による資源回収
- 地域住民からの要望事項の経過状況の報告
- 〇 今後の自治会行事予定

「和田町自治会ニュース」は、自治会連合会のホームページにも掲載されています。 過去、1年分の「和田町自治会ニュース」がご覧いただけます。

http://www.ome-rengou.jp(自治会連合会 HP)→地域活動→自治会だより) 平成26年8月号では、「和田町納涼祭」を特集しました。



(記事の一部を抜粋)

#### ○納涼祭成功裏に執り行われる

7月26日(土)好天に恵まれた恒例の「和 田町納涼祭」が開催されました。

当日は連日の暑さの中、朝8時から関係団体 の皆様や自治会役員等により準備が行われま した・・・。

以下は当日のプログラム内容です。

- ・囃子保存会の子供囃子
- ・子ども会 男子 女子 歌とダンス
- ・清和会 カラオケ 踊り
- ・清和会 ユーモアクラブ 安来節
- ・囃子保存会 徳昌寺の狸囃子
- ·特別出演 上郷舞踊同好会
- ・安協和田班 カラオケ
- ・消防団 カラオケ
- ・前自治会長、囃子保存会他全員でカラオケ 「祭り」を熱唱して終了。



\*皆様のご協力で納涼祭が盛大に終了できたことを感謝いたします。



# 青梅市自治会連合会第4支会

# 梅郷6丁目 自治会

# 自治会長 山下 秀明

世帯数294世帯

当自治会発行の広報「上郷新聞」は、平成7年の2月に「KAMIGO」創刊号が生まれやがて月日が流れ、現在87号がすでに発行されました。

創刊号当時は、B4裏表で紙質も悪くワープロやガリ版での紙面制作でしたが、平成 14年から編集者が変わり、題字や紙面構成も変えA4で2面から4面に、平成24年9月の74号からモノクロからカラー化に変え、A3で4面に一新しました。

お蔭様で広報「上郷新聞」は、年 5 回発行され今年で 21 年を重ねることができ、2 月に 87 号が発行されました。

梅郷6丁目自治会員宅に各戸配布しております。

広報「上郷新聞」は、青梅市自治会連合会のホームページでもご覧いただけます。

http://www.ome-rengou.jp

自治会連合会HP→地域活動→自治会たより

# 平成7年に発行された創刊号 上郷新

### 広報「上郷新聞」発行するにあたっての制作意識と主旨

地域のことや、自治会の行事、動きなど自分たちの身近な問題をタイミングよく知らせることができ、それにより、住民の地域意識を目覚めさせ、住民相互や自治会との連帯感をつくりだす大切な役割をもっています。

#### 広報「上郷新聞」の基本姿勢

発行部数 …… 各戸配布とする。

発行日 …… 年 5 回で2回は特集号とし(運動

会・文化祭)とする。

編集方針 …… 不偏不党とする。

編集委員 …… 取材、原稿収集、原稿依頼、レイ

アウト、原稿書きなど一人でやら

ずに分業とする。

#### 何を載せるのか

聞の

題字(

Ē

87

 $\mathcal{O}$ 

郷

新聞(下)

(1) 自治会や地域への関心を高める (年間事業計画、子供会、老人会等の活動紹介)

- (2) 事業のPR (自治会の活動をPRすることで、 理解と参加を呼びかけることが必要)
- (3) 読みたい記事 (新聞、雑誌、他の広報誌の転載)
- (4) 住民の参加(自由投稿、俳句、短歌、川柳など)

# 多摩川遊歩道パトロール

「三田地区を見守る会」、「青少対三田地区委員会」では、毎年川の事故防止や、ゴミ捨て防止等の予防活動として、青梅消防署及び、地元駐在所に御協力を頂き、多摩川遊歩道パトロールを実施しています。平成26年度は7月26日(土)、猛暑の中実施しました。 また、今回は、5月に御岳で山火事が2件発生した事もあり、消防署から山火事防止のパンフレットを頂き、ハイカー等に配布し広報活動も行いました。

#### 【パトロールコース】

沢井市民センター ~ 沢井2丁目遊歩道入口 ~ 楓橋~鵜瀬橋~御岳小橋 (約2.5km)

#### 【参加者】 合計49人

· 自治会長 14人

·青少対 22人(内小学生8人)

・地元駐在所 3人

• 青梅消防署 8人

・事務局 2人

### 【パトロールを終わって】

暑い日でしたが、時折多摩川の涼しい風を受け、 小学生は中間点の鵜瀬橋まで頑張りました。 暑い体にアイスキャンデーが美味しかったと思い ます。

最近、水遊びをしている人は少なくなっていますが、それでも御岳小橋周辺では、バーベキューやボルダリング、散策等をしているグループが複数来ており、ゴミの持ち帰りや事故防止を呼びかけました。

先日も水難救助があったばかりです。

今夏事故の無い事を祈り、パトロールを終了しました。



青少対委員、6小児童たち



パトロール風景



消防署、駐在所、自治会長

# 第5支会 三田地区防災講習会

# 「ハのちを守る自主防災」

三田地区は、多くの住宅が急傾斜地に囲まれており、土砂災害には多数の方が高い 関心を持っています。

このような状況を受け、地元沢井2丁目にお住いの気象予報士:青木孝さんに「**いのちを守る自主防災**」というテーマで防災講習会を実施して頂きました。

日 時 : 平成26年6月27日(金) 19:00~20:30

会場: 沢井市民センター 多目的室

参加者 : 44名



#### 【講師:青木 孝さんのプロフィール】

気象予報士

専門は、防災気象や台風の進路予想、長期予報、地球温暖化予測等。

長年気象庁に勤務し、札幌管区気象台 技術部長、 気象予報部 予防課長、気象研究所、成田空港、 舞鶴海洋気象台長などを経て、現在は株式会社 ウェザーニューズ社に属して若手気象予報士の 指導等に当たっています。

#### 【講演内容】

- (1) いのちを救う隣近所の助け合い(連絡体制や安否確認方法の紹介)
- (2) 自分のいのちを守るのは自分 (過去の事例では、自立避難が最多で40%以上)
- (3) 台風による豪雨 (中心付近や山沿いで豪雨、長時間型大雨台風の特徴等)
- (4) 山麓と平野の豪雨(場所を選ばず突然のゲリラ豪雨、積乱雲の集団による短時間型大雨)
- (5) 避難場所 (防災情報は広範囲を対象に出ている。自分の防災は行政任せにしない)
- (6) 最近の災害傾向(犠牲者の減少は下げ止まり状態。昔はもっと強い台風が上陸していた)
- (7) いつもと違うと感じたら避難(普通の大雨の時に崖や沢を見ておく。見回りは2人で)
- (8) 前兆現象 (急な斜面の土砂崩れ、沢の土石流)

#### 【講習を終えて】

地元の地形や気象に詳しく、また過去のデータや災害事例を引用し、非常に判り易い内容で した。 土砂災害は防ぐ事は難しいですが、人的被害は私達の行動次第で防ぐ事も出来ますので 今後、知恵を出し合い、防災対策を考えて行きたいと思います。 有意義な講習会でした。

# 第5支会 農業講演会

# 「秋野菜の栽培方法と土壌及び施肥管理」

三田地区では、多くの方が家庭菜園を楽しんでいますが、中々思う様に出来ない等の声を聞いています。 副支会長である福島正文さんは、農業委員も務める野菜作りの名人であり、秋野菜の栽培方法等について講師をお願いし、講演会を開催しました。 野菜つくりのノウハウ取得も目的のひとつですが、参加者の菜園コミュニケーションの活発化や、秋に開催される文化祭への野菜出品数の増加も狙い、地域活性化の一助となる事を願って実施しました。

日 時 : 平成26年8月14日(木) 19:00~21:00

会 場 : 沢井市民センター 第1会議室

参加者 : 34名



#### 【講師:福島正文さんのプロフィール】

長年、国の機関で農業の肥料を検査する仕事 に従事。退職後は、肥料会社にて肥料のコンサ ルタントを行っています。

また、青梅市農業委員会委員を9年間務め、 今年度から会長という大役を務めています。

自身も野菜を中心に栽培を行っており、直売 所に出荷しています。

#### 【講演内容】

- 1. 栽培のための土壌要因 (主要作物好適 p H 領域と管理方法等)
- 2. 肥料成分と作物の吸収 (作物の種類と窒素の吸収、野菜の窒素施用と品質等)
- 3. 肥料の三要素および五要素(窒素、りん酸、カリウム、カルシウム(石灰)、マグネシウム(苦土)
- 4. 肥料の種類と特徴 (製法・性状による分類、無機肥料と有機肥料、複合肥料、たい 肥等)
- 5. 秋野菜と栽培管理方法(大根、白菜、ブロッコリー、ほうれん草、キャベツ)

#### 【講演を終えて】

はじめての試みでしたが、限られた時間の中で、質疑応答も活発に行われ、予想以上に好評でした。 日頃、自己流で栽培している方も多く、大変参考になったようです。

アンケート結果では、若干難しかったとの意見もありましたが、8割の方が、次回に春野菜や夏野菜について講演をして欲しいとの事でした。